

『エッジコンピューティング技術を活用したスマート工場の実証』に関する RRI SWG 立上げのお知らせ

一般社団法人 Edgexcross コンソーシアム（以下、本コンソーシアム）の幹事会社^{*1}7社は、ロボット革命イニシアティブ協議会（以下、RRI）へ、「エッジコンピューティング技術を核とした FA-IT 連携による工場スマート化システムの構築および効果の検証」を目的としたサブワーキング（以下、本 SWG）の立上げ提案を行い、了承されました。

日本政府が提唱する「Society5.0^{*2}」および Society 5.0 につながる「Connected Industries^{*3}」の実現のためには、企業・産業界の枠を超えた連携が不可欠になっています。このため、ユーザー視点での現場課題に即したユースケースの抽出及び、複数企業間の連携の有効性の実証が求められています。

本 SWG では、エッジコンピューティング技術として「Edgexcross^{*4}」を用い、複数拠点に渡る実機を用いた模擬工場システムの構築を計画しており、本コンソーシアムは「Edgexcross」の提供やシステム構築支援等を行います。なお本実証事業の参加企業を9月14日まで一次募集しておりますので、希望者は本コンソーシアムまでお問い合わせください。

*1：アドバンテック株式会社、オムロン株式会社、日本電気株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社、日本オラル株式会社、株式会社日立製作所、三菱電機株式会社

*2：内閣府「科学技術基本計画 第5期科学技術基本計画」で示された、サイバー空間とフィジカル空間（実社会）が高度に融合した「超スマート社会」を未来の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組み

*3：経済産業省が2017年3月に発表した日本の産業が目指すべき姿（コンセプト）

*4：FAとITの協調を実現するオープンなエッジコンピューティング領域のソフトウェアプラットフォーム

サブワーキング概略

名称	エッジコンピューティング技術を活用したスマート工場の実証
実証期間	2018年9月18日～2019年3月31日
目的	Connected Industries 具現化事例として、エッジコンピューティング技術を核とした FA-IT 連携による工場スマート化実証システムを構築し、Edgexcross の有効性を検証
主な活動内容	現場課題に即したユースケースの抽出およびオープンプラットフォーム Edgexcross を用いた複数企業間の連携の有効性の実証 ① ユースケースの具体化 ② 生産ラインを模擬した設備、エッジアプリケーションおよび IT システムを各社分担して製作 ③ Edgexcross コンソーシアムと連携したシステム構築 ④ 上記③のシステムにおけるユースケースの検証 ⑤ 実証実験結果の報告書作成

今後の予定

2018年9月～10月中旬	現場課題に即したユースケースの抽出
2018年10月中旬～2019年2月中旬	実証システムの構築
2019年2月中旬～3月下旬	実証実験および結果のまとめ

問合せ窓口

一般社団法人 Edgexcross コンソーシアム 事務局
 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 本館 301-2 号
 E-Mail : info@edgexcross.org
 Web : <https://www.edgexcross.org>